

【別紙】

## 設立の動機

児童発達支援・放課後等デイサービスの事業所を2019年3月から運営させていただいており、現在は、福山市2事業所、尾道市1事業所、笠岡市1事業所となっております。

上記事業所では、お子様の年齢や環境、成長とともに変化する個々のニーズをもとに個別カリキュラムにて1対1で療育を行わせていただいています。

進学や進級などの学齢期のお子様の環境の変化には、放課後等デイサービスの中で対応が可能です。しかし、開所から数年経過し、学校を卒業するなどで、放課後等デイサービスから次のステップに進むお子様も出てきております。

社会参加が近づく年齢のお子様に関わらせていただく中で、将来どのような支援が必要かをずっと事業所として検討してまいりました。

保護者の皆さんは、お子さんが将来、社会の中で自分らしく、また困ることなく生活することを望まれています。よって、社会に出た時に困らないスキルを身に付けることも、放課後等デイサービスのニーズの1つにもなっています。

また、放課後等デイサービスを利用して下さっている期間からも、就労に向けてのご相談も多くあります。相談を受けさせていただく中で感じるのは、保護者はお子さんを社会に出すことへの不安、お子さん自身も社会に出ることへの不安を抱えています。知らないことへの不安も多分にあるかと思います。就労移行支援を利用することで、社会に出るために必要な知識を得て、また社会の仕組みを知り、その上で自分の将来を自分で決めることが出来る場所としていければと思います。そのような思いで、今回就労移行支援事業所の設立を考えました。

社会活動をする中で、多様な経営者と出会い、社会全体で言われていることですが、働き手不足が深刻な状況であることを実感しております。

企業における障害者雇用率の上昇に伴い障害者雇用の推進が求められてはいますが、働きたい障害者と雇用したい企業との間のマッチングに課題が残されています。

今後、企業と求職者との懸け橋となれるような取り組みを目指していきます。

就労先企業については、関係機関との連携は必須ですが、事業所としても独自で企業開拓を積極的に行い、企業で必要とされている技術を訓練に組み込み就労へとつなげていきます。社会参加や就労にはいろいろな形があります。関係機関や企業と連携しながら、本人が望み本人に適した選択を一緒に見つけていければと思います。

社会参加への一歩を踏み出せる勇気につながる取り組みを職員一同で取り組んでまいります。